

製造業のビジネスチャンスが見える  
モノづくり最新情報サイト  
じゃぱんお宝にゅ〜す  
<https://japan.otakaraneews.com>

# じゃぱんお宝にゅ〜す

モノづくり現場の未来を見つめる  
製造業応援サイト  
じゃぱんお宝WEB新聞  
最新情報満載！好評配信中！

## SECO

## セコ・ツールズが広範な安全戦略を導入

# 安全パラメータの20%向上を目標に新戦略導入 年間目標と長期目標両方を含む安全戦略導入

### 独自の安全戦略 災害度数率削減

セコ・ツールズは、従業員の安全、衛生、健康を最大限まで考慮し、年間目標と2030年までの長期目標の両方を含む広範な安全戦略を導入した。

この安全戦略は、長期計画の作成と継続的な改善アプローチを通じて、年間の業績のみを重点とした業界で一般的な安全プログラムにより達成される結果に比べ、災害度数率を大幅に低減できると期待されている。

### 年間目標と長期目標 両方を含む独自戦略

通常、製造環境では手指の負傷が多く、施設の職員から機械オペレーターまで、誰もが負傷する可能性がある。

セコ・ツールズは安全戦略として、休業災害度数率(LTIFR)の長期目標を2022年に1.1、2030年までに0.8に設定している。

一方、不休業災害を含めた災害度数率(TRIFR)目標は、2022年に2.0、2030年は1.6以下に設定している。

### 安全プログラム計画 包括的アプローチ

セコ・ツールズは昨年、包括的アプローチを取り入れ、安全プログラムの計画を開始した。計画に当たっては、分析を重点として、職場の危険、負傷度数率、遅延などの主要業績評価指標(KPI)だけではなく、活動と結果の相関関係に関連する主要な指標を評価した。

セコ・ツールズの包括的なアプローチは、全社的なグローバル戦略であり、

セコ・ツールズが目標と目的を設定して、現地サイトすべてに伝達する。これにより、全サイトが適切な評価実施に必要なデータにアクセスして、既存のギャップを特定して解消できるようになる。

### 新しい事故報告ツール 「なぜなぜ分析(5Why)」

セコ・ツールズは、安全問題の原因とその調査方法を徹底的に調査できるよう、長期戦略に事故報告ツールEHS 360を採用した。

これを実現するため、システムに最大規模の変更として、130件の根本原因と事故の直接原因を15件にまで削減した。

また、根本原因をより正確に特定できるよう、「なぜなぜ分析(5Why)」アプローチも追加した。これは、事故

の一部では、原因が1つではなく、複数のことがあるため。

セコ・ツールズは、原因を削減してグループ化することにより、さらに正確な分析ができるようにした。これらの原因を長期間追跡すると、潜在的な傾向を特定し、調査結果を改善できる。そうすることで、適切な措置を講じて原因を修正し、将来的に同様の事故が再発するリスクを最小限に抑えることができる。

### SMS安全衛生の スペシャリスト談

セコ・ツールズのSMS安全衛生スペシャリストであるLowe Hjort氏によれば、「安全性の向上に取り組むには、1年では短すぎます。効果的な分析には時間がかかります。そのため、データの分析、発見したギャップの標的化、コラボレーションの構築、改善にさらに時間が必要です。

安全性に対して、企業は常に長期的なビジョンを持っている必要があります。

### 従業員の安全は 企業継続と一貫

そのため、年間目標だけではなく、長期目標も導入しました」と説明する。

セコ・ツールズは、従業員の安全は企業継続の取り組みの一貫としている。

変化し続ける状況に適応して、様々な状況に対処、改善するソリューションや活動を特定している。

最終的な目標は職場の安全性向上で、コラボレーション、知識の共有、積極的な安全目標の設定と達成を通じて、これを達成している。

(※資料提供：セコ・ツールズ)

